

和歌山だより

平成26年10月号



泣き相撲（海南市）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P9
3. お知らせ…………… P10～P11
4. ふるさと歳時記…………… P12～P13

「紀の国わかやま国体」開催まで
1年を切りました！！



間に合うはずだ

国体までにという合言葉のもと、京奈和自動車道やすさみまでの近畿自動車道紀勢線の工事が急ピッチで進んでいます。長い間放置されていた和歌山市内の都市計画道路や県内を結ぶX軸ネットワークや川筋ネットワークも大分できてまいりました。多くの県民の方々が喜んでくださいます。しかし、このような道路はできればいいというものではありません。この道路ができ、その結果、県民生活や経済活動の効率性が上がり、全国のネットワークにつながることで、企業立地の条件も格段に良くなり、農林水産物も運びやすくなり、人々の活動が活発になって地域が元気になるというのが主眼です。

ただし、和歌山県については、心の中に深刻な心配もあります。あまりにも長い間、このようなインフラの不備で地域の競争条件が悪かった結果、だんだんと衰退が進み、有為な若者が流出してしまって、ようやく条件がよくなった時には、県民の潜在力が衰えてしまっているのではないかという事です。ずっと昔から先を見て、強力に推進していかなければいけなかった案件を、今がまあまあいいからと放置しておいた科(とが)がのしかかってきているような気がします。

しかしながら、私は本来楽観主義者です。必ず間に合うはずだと信じています。確かに歴史をふりかえると、和歌山県民は少々油断をしやすようです。しかし、うんと調子が悪くなると、一大発起して頑張ってみてまいりました。戦後の焼け野原からの復興も全国よりもずっと早かったと思います。条件さえ整えば、優秀な県民の力が大爆発するはずだと信じています。まだ間に合うはずだと信じて、県は将来の和歌山県民のために必要な事業に全力を尽くします。

また将来のために間に合わせないといけない仕事も多々あります。地震・津波から人々の命を守る対策も、水害が起こらないような河川の改修などの工事も、起こってからでは遅いのです。焦る気持ちです。

まだ間に合うはずだと気力をふりしぼって、頑張っていきたいと思います。



9/10 定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●知事がニューヨークを訪問

・9月21日から9月24日までの日程で、仁坂知事はニューヨークを訪問し、独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO)が開催する「対日投資セミナー」に 安倍 晋三内閣総理大臣や 世耕 弘成内閣官房副長官らとともに参加し、和歌山への投資を呼びかけるプレゼンテーションを行いました。また、ニューヨーク和歌山県人会や、観光プロモーションのためニューヨークを訪問中のインド・マハラシュトラ州(平成25年度に観光交流、企業間協力による産業交流等に関する覚書を締結)関係者と協議を行い、今後も積極的な交流を展開することで合意しました。

○対日投資セミナー

・9月23日、ヒルトン・ミッドタウンにおいて開催された対日投資セミナーの冒頭、出席した 安倍総理から挨拶があり、その後、三菱UFJモルガンスタンレー証券会長による基調講演が行われました。

・続く自治体によるプレゼンテーションにおいて仁坂知事は、和歌山県がアジアのハブ空港である関西国際空港に非常に近いこと、大都市圏に比べて用地価格・人件費等において競争力が高いこと、全国最高水準の助成金制度を有していること、知事直轄で各部局が一丸となった対応を約束することなど、投資先としての和歌山県の良さや優れたビジネス環境をアピールし、和歌山への投資を呼びかけました。

・プレゼンテーション終了後のネットワーキング・レセプションでは、県産梅酒を披露し、和歌山県の魅力を発信するとともに、セミナー参加者との情報交換行いました。



○ニューヨーク和歌山県人会との意見交換

・9月21日、仁坂知事は、ニューヨーク都市圏に移住・赴任された県出身者が、故郷である和歌山県との連絡を密にし互いに親睦を図るために2004年に設立されたニューヨーク和歌山県人会のメンバーと懇談し、参加者との交流を深めました。

○マハラシュトラ州関係者との意見交換

・その後、ニューヨーク訪問中のインド・マハラシュトラ州 マリック儀典長及び同州観光開発公社幹部と今後の交流について協議を行い、来年度予定している アンベッカー博士の記念碑の高野山設置及び観光分野において、引き続き積極的に交流を展開することで合意しました。

●知事が香港を訪問

・9月27日から9月29日までの日程で、仁坂知事は香港を訪問し、香港貿易発展局と経済交流の活性化を念頭においた覚書締結1周年を記念した和歌山プロモーションを実施しました。また、和歌山県への誘客に尽力し、県観光大使に就任いただいている E G L ツアーズ 袁 文英社長を訪問し、同社創立28周年パーティーに出席するとともに、さらなる誘客につながるよう、関係者に和歌山をPRしました。

○香港貿易発展局との覚書締結1周年記念 和歌山プロモーション

・9月28日、香港貿易発展局とのMOU締結1周年を記念し、県産品のさらなる販路開拓・拡大を目指している香港において、和歌山が誇る県産品の魅力を伝えるべく、和歌山プロモーションを開催しました。

・セミナーでは、県職員から県産品の魅力をPRした後、県内自治体・企業から香港での販売を希望している産品・商品を紹介しました。

・レセプション(交流会)では、仁坂知事が各マスコミからの取材を受け、MOU締結後の県の取組や県産品・商品の魅力を発信しました。また、会場内に設けられた各自治体・企業の産品・商品PRブースでは、香港企業との活発な意見交換も行われました。週末にも関わらず、プロモーションには100名以上の方々が来場し、会場は大いに盛り上がりました。今回、MOU締結1周年を契機としてプロモーションを行ったことは、今後の香港とのさらなる経済交流活性化につながるものと期待できます。

・なお、この夜、仁坂知事は、退任間近の フレッド・ラム総裁と会見を行い、旧交を温めました。次期総裁には、昨年9月に香港食品・物流ミッション団を率いて来県した マーガレット・フォン副総裁が着任の予定です。



○EGLツアーズ創立28周年パーティー

・9月27日、仁坂知事は香港における訪日団体旅行の取扱いが最大で、和歌山県へ多くの訪日団体旅行客を送客いただいている E G L ツアーズの創立28周年パーティーに、県内企業8社とともに出席しました。パーティーには、日本全国から多くの自治体・旅行業者等を含め約1,500人もの方々が出席しました。

・仁坂知事が、唯一のゲストスピーカーとして平安衣装を着用し登壇すると、会場が大いに盛り上がりました。その中で、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」など和歌山県が世界に誇る観光資源の魅力を紹介するとともに、袁社長に対しお礼を伝え、さらなる和歌山県への観光客送客を依頼しました。

・本県への外国人宿泊客数が最も多く、今後のインバウンドの取組において最も重要な地域の一つである香港において、2015年中に上場も予定されている E G L ツアーズとの関係を一層強化できたことにより、今後の和歌山へのさらなる観光客誘致につながるものと期待できます。



●いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン開催中！

・9月3日から12月13日まで、県観光連盟は、首都圏からの観光客誘致を目的に「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン」を展開しています。

・昨年の「伊勢神宮式年遷宮」に始まり、今年の「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年とこれを契機とした和歌山ステイネーションキャンペーン、来年の「高野山開創1200年」、再来年のNHK大河ドラマ「真田丸」放映へと続く、本県観光にとっての“ゴールデンイヤー”を十分に活かせるよう、このキャンペーンを通じて本県のさらなる魅力発信、誘客促進につなげていきます。

・9月3日は、オープニングイベントとしてホテルニューオータニ(東京都千代田区)において、首都圏のメディア、旅行会社等関係者を対象にしたレセプションを開催し、約200名の参加をいただきました。

・仁坂知事は、「熊野そして高野山。聖地への巡礼が日本人の旅の始まり。旅行の原点の地・和歌山でお会いしましょう。」と来訪を呼びかけました。

・また、和歌山県を応援するため、ふるさと大使 小西 博之さん、パンダ大使 岡本 玲さんも駆けつけ、「食べ物や温泉でも和歌山を満喫してほしい。」「日本一のパンダファミリーがお勧めです。」など、明るく元気に和歌山のPRをしていただきました。

・このキャンペーン期間中は、東京にある和歌山ゆかりのスポット(わかやま紀州館、わかやま紀州館～いこら～、六義園、旧古河庭園、高野山東京別院、新宿十二社熊野神社、北区飛鳥山博物館等)を巡るスタンプラリーを実施しています。各スポットに設置している専用の応募用紙にスタンプ3個以上集めると応募でき、抽選で和歌山宿泊旅行や「わかやま紀州館」のお買い物券、プレミアム和歌山認定商品等が当たりますので、東京近郊にお住まいの方や東京へお出かけの際に、是非ご参加ください。

・また、10月中は、東京駅一番街デジタルサイネージにおいて、「わかぱん」がダンスする映像を活用して和歌山観光の魅力を発信します。そのほか首都圏において、多くの観光PRイベントも開催されます。詳しくは、わかやま紀州館のホームページをご覧ください。

<http://www.kishukan.com/>



●和歌山デスティネーションキャンペーンいよいよスタート！

・9月14日午前、JR新大阪駅ホームにおいて、「和み、和らぐ。和歌山からはじまる旅。」をキャッチフレーズとした和歌山デスティネーションキャンペーン(わかやまDC)オープニング記念セレモニーを開催しました。

・冒頭、わかやまDC推進協議会会長の仁坂知事は、「和歌山には世界遺産やパンダなど数え切れないほどの“宝”がある。しっかりとおもてなしをするので、是非、この機会に和歌山に来てほしい。」と挨拶しました。

・わかやまパンダ大使 岡本 玲さんも、「期間中は特別企画が盛りだくさんなので、今が旬の和歌山県に一度と言わず何度でも遊びに来てください。」とPRしました。

・その後、テープカットが行われ、出発の合図とともに、特急「くろしお」に乗り込んだ仁坂知事、岡本玲さんらは白浜に向かい、JR白浜駅に到着すると、白浜町の観光関係者らに盛大な歓迎を受けました。

・午後からは、白浜町の白良浜特設会場において、わかやまDCのオープニングイベントを開催し、仁坂知事は、「わかやまDCを機に、心をつなげて観光客をお迎えしたい。コンサートやスタンプラリーなどイベントが盛りだくさんなので、しっかり和歌山を楽しんでほしい。」と呼びかけました。その後、地元観光関係者らから、「私たちは笑顔で挨拶します。積極的に声をかけて旅のお手伝いをします。あたたかい心でおもてなしをします。」とおもてなし宣言があり、岡本玲さんが開幕を宣言する号砲を鳴らしたことで「わかやまDC」がスタートしました。

・引き続き、同会場において、稲垣 潤一さんによるオープニングコンサートが行われ、約1,000人の方がコンサートを楽しみました。そのほか、フラフェスティバル、夜には白良浜を2,014本のキャンドルで彩るキャンドルイルミネーションやメッセージ花火、円月島をライトアップするイベントなどが繰り広げられ、初日から大いに盛り上がりました。

・この日を皮切りに、12月13日までのわかやまDC期間中は、県内各地で様々な特別企画やイベントを実施するとともに、心のこもった「おもてなし」で全国のお客様をお迎えします。是非、この機会に和歌山にお越しください。

・滅多にお目にかかれない秘宝等の特別公開や、景勝地でのライトアップも実施されます。企画の詳細については、キャンペーン特設サイトをご確認ください。



<http://www.wakayamadc.jp/> わかやまDCで検索

●世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2014」に出展！！

・9月25日から9月28日の4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において開催された世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2014」に、和歌山県ブースを出展しました。

・このイベントは、日本観光振興協会が主催してきた「旅フェア日本」と日本旅行業協会が主催してきた「JATA旅博」を今年度から統合し、観光立国のシンボルとして開催する世界最大級の旅の総合イベントとして新しく生まれ変わったものです。

・47都道府県が出展する中、和歌山県のブースは、関西では最大、全国でも都道府県単独出展としては、沖縄県、東京都に次ぐ規模の出展となりました。

・県ブースは、現在開催中の「和歌山 destinations キャンペーン」を強力にPRするため、キャッチフレーズ「和み、和らぐ。和歌山からはじまる旅。」のロゴや、旅のテーマを連想させるビジュアルタペストリーをブース全体に配置し、来場者の視覚に訴えました。

・全国47都道府県と151カ国・地域から1,129企業・団体が出展し、約15万人の来場者で大変賑わう中、県内からの出展各団体(和歌山市、高野町、新宮市、熊野三山観光協会)は、多くの来場者に、観光パンフレットの配布や物産販売するほか、旅行会社や各種メディアとの商談会にも参加し、和歌山県を大いにPRしました。



●旧紀州藩士邸長屋門を移築・保存します

・和歌山市内(堀止東)に残された数少ない紀州徳川時代の遺構で、周辺の住宅開発のため撤去が予定されていた歴史的建築物「旧大村家長屋門」について、現在地から移築し、保存することとなりました。

・和歌山市に残っている唯一の徳川時代からの武家屋敷の大きな長屋門ですが、一部は開発業者に売られ、壊されそうであったことを聞きつけた仁坂知事が、開発業者や持ち主とも協議した結果、解体して保存することに至りました。

・9月から移築に向け建築物の解体・調査が始まっていますが、今後、和歌山市と相談しながら和歌山城周辺地域を中心に移築保存先を選定し、平成27年度以降に建造物を再築する予定となっています。

・建築面積は、160.45㎡、正門部は間口2間半で、檜材2枚の大扉と潜り戸を配し、長屋部の壁面には海鼠壁が化粧されるなど、高禄武家屋敷を特徴する重厚な門構えの外観がよく残されていることが特徴となっています。



●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会・インターハイ開催1年前イベント実施！

・9月23日、県民文化会館において、来年開催の紀の国わかやま国体、紀の国わかやま大会に向けて一層の気運の醸成と、今年の長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会に出場する県選手団を激励するため、結団壮行式が開催されました。



・下副知事から、国体選手団 中山 厚史選手(銃剣道競技)及び大会選手団 宮崎 郁矢選手(陸上競技)に団旗が授与され、「日頃の練習の成果を発揮するとともに、全国の選手と友情の絆を深めてほしい。」と激励の言葉がかけられました。

・県選手団を代表して、西岡 真穂選手(フェンシング競技)が「いよいよ来年開催の紀の国わかやま国体に向け、選手一同一致団結し、県民の皆様にも勇気と希望を与えられるよう全力で頑張ります。」、本田 功選手(卓球競技)が「全国の障害のある方々との交流を深めるとともに、日頃の練習の成果を存分に発揮します。」と意気込みを話しました。

・さらに、インターハイ開催1年前に、例年開催地間で行われている「友情の花の種伝達式」も実施され、来年の開催地である近畿の高校生が、今年の開催地である南関東の高校生から「友情の花(サルビアとマリーゴールド)」の種を引き継ぎました。

・最後には、ウインズ平阪さん、宮本 恵梨菜さんをお迎えして、国体・大会イメージソング「明日へと」がダンスとともに会場全体で合唱され、来年本県で開催される各大会に向けて結束が一層固まりました。

・10月12日から国体が、11月1日から全国障害者スポーツ大会が長崎県において開催されます。皆さんの温かい御声援をお願いします。

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会公式ポスターのデザイン決定！

・今年2月17日から4月17日まで公募していたポスターのデザインについて、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会において審査が行われ、日本体育協会の承認(国体ポスターのみ)を経て、この度、公式ポスターのデザインが決定しました。

・両大会のマスコット「きいちゃん」を中央に大きく配置するとともに、両大会の開催に向けた気運の醸成を図るため、和歌山の豊かな自然や両大会で使用する競技会場を背景に取り入れることにより、和歌山らしさを前面に出しています。

・9月下旬からは各都道府県・市町村をはじめ各地に掲示し、来年の開催に向けて一層気運を高めていきます。



●「バナラヨーグルト 有田みかん」が日本ルナ(株)から発売中！

・ 9月29日から約6ヶ月間、日本ルナ 株式会社(本社：京都府八幡市)から、「有田みかん」果汁を使用した「バナラヨーグルト 有田みかん」が、全国のスーパー、コンビニエンスストア等において発売中です。

・ 県が、わかやま産ブランドの向上と販路開拓を目的に、大手食品メーカーに対し、県産品採用に向けて取り組んできたことにより、今回の商品化に至りました。

・ この商品は日本ルナ(株)の看板商品である「バナラヨーグルト」シリーズで、特産品を使用したものでは、全国で2番目の商品となります。商品パッケージには、和歌山県共同開発商品PRマークである「協力 和歌山県」が付され、商品紹介POPには、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」マスコット「きいちゃん」が登場し、和歌山県を全国にPRしています。希望小売価格は、1個80円、3個入りパック225円(ともに税抜)となっています。皆さんも是非お買い求めのうえ御賞味ください。

・ 県では、今後も共同開発商品を積極的に広報し、「有田みかん」のさらなる認知度向上を図っていきます。



●和歌山食材を活用した新商品を開発しました！

・ 9月14日から和歌山県及び周辺地域のコンビニエンスストア「セブン-イレブン」において、県産のしらすを活用した「和み、和やか。梅としらすのおだしごはん(税込398円)」、「和み、和やか。しらすのペペロンチーノ(税込430円)」が販売中です。

・ 県では、「和歌山デスティネーションキャンペーン」や来年の「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」開催に向けて、「和歌山元気づくりプロジェクトチーム」を結成し、おもてなしの向上をはじめ県産品の積極的なPRや企業に対する新商品開発への働きかけをしてきました。その中で、株式会社 セブン-イレブン・ジャパンとのタイアップにより今回の商品開発が実現したものです。

・ なお、「和歌山元気づくりプロジェクトチーム」では、「紀の国わかやま国体・大会」の開催に向けた気運を盛り上げるとともに、両大会を契機とした県内企業の新商品開発を促進するため、地域資源を活用した商品等に対して「きいちゃん」を無料で使用できるようにしています。



●「東京インターナショナル・ギフト・ショー 秋 2014」に県内企業が出展！！

・9月3日から9月5日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において開催された、日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市である「第78回東京インターナショナル・ギフト・ショー 秋 2014」に、県から以下の22社が出展しました。



・展示会への来場者数は3日間で約19万人、出展企業は約2,500社と大変な賑わいの中、県内からの出展各社も自社製品を大いにPRし、販路開拓のために多くのバイヤーと商談を行いました。

主な事業内容	企業名	所在地	主な出展製品
家庭用品	(株)アイセン、(株)アイワ (株)サンコー、サンベルム(株) オカ(株)、(株)オカトー (株)小久保工業、(株)若兆 ヨコヅナクリエーション(株)	海南市	台所用品、浴室用品 アイデア用品、洗濯用品 家庭用品、トイレ用品、 調理用品、タオル 木製食器等
漆器	妹背漆器店、中西工芸(株) (株)角田清兵衛商店 (株)橋本達之助工芸 (株)阿瀬眞三商店 (株)木重漆器店 (株)島安汎工芸製作所	海南市	ぬりものマグネット、しおり うるしの小物、トレイ ダストボックス、仏壇、お椀 ミニチュア家具等
テキスタイル	オーヤパイル(株)	橋本市	ハンカチ、バッグ、小物等
革製品	テラ、グラン・ジュテ	和歌山市	自社ブランドの革製品
プラスチック製品	大栄工業(株)	和歌山市	デザイン照明
大型インダストリアルギフト出力	メイク広告(株)	和歌山市	家電のラッピング
ジュエリー販売	(株)セキネ	有田川町	ジュエリー

●株式会社 興栄ケミカル工業所が橋本市「神野々用地」へ新工場建設

・9月3日、株式会社 興栄ケミカル工業所(本社：橋本市)が、同市の「神野々用地」へ新工場を建設することが決定し、橋本市役所において協定調印式を開催しました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は130件となりました。



・平成8年設立の同社は、自動車用フロアマットを中心に各種マットを製造しています。大手自動車メーカーの純正マット製造を主体とし、製品によって異なる硬さ、厚み、着色に対応できる高い技術力や、県内唯一である樹脂等によるマットの裏面加工技術を持ち、開発・試作から製造まで一貫して手がけています。今回、外注部門を内製化することにより、生産能力増強を図るとともに、事業拡大を進めていくため新工場を建設する運びとなりました。

・操業開始は平成27年4月に予定されており、県内新規地元雇用者20名が見込まれています。

●弘法大師・空海シンポジウムを開催します！

高野山開創1200年記念

弘法大師・空海シンポジウム
～お大師様が御座します高野山～

弘法大師・空海は、初めて唐から我が国に密教をもたらし、和歌山県の高野山に真言宗の総本山を開基しました。それ以来、高野山は我が国の仏教の聖地として引き継がれ、その祈りの空間に現在もなお全国から参拝者が集まっています。また、弘法大師・空海は、日本全国に伝説が残るほど、国民に親しまれた高僧であります。そこで、高野山開創1200年を控えた今、弘法大師・空海のシンポジウムを開催し、その偉業と人物を広く国民の皆さんに知っていただきます。

日時：平成27年1月17日（土）13：30～16：30

場所：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン3階 アカデミーホール
（住所：東京都千代田区神田駿河台1-1）

出演者：山折 哲雄 宗教学者

家田 莊子 作家、高野山真言宗僧侶、高野山本山布教師

添田 隆昭 高野山真言宗宗務総長、総本山金剛峯寺執行長

金山 秋男 明治大学法学部教授、明治大学死生学基礎文化研究所代表

仁坂 吉伸 和歌山県知事

次第：山折哲雄氏による基調講演

「空海、現代に蘇る」

パネルディスカッション

申込先：明治大学リバティアカデミー事務局

<https://academy.meiji.jp>

電話 03-3296-4423

申込方法：電話またはホームページからお申し込み
ください。

（事前予約制、全席自由、先着1,000名）



ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）の御案内

ふるさと和歌山応援寄附の取組を始めて、今年で7年目になりました。お陰をもちまして、のべ約800名の皆様から1億5千万円を超える御寄附と力強い応援のメッセージを頂いております。厚く御礼申し上げます。

皆様から「ふるさとを大切にしたい」、「元気な和歌山の創造を応援したい」という思いでお寄せいただいた御寄附は、世界遺産の保全や美しい海づくりなど6つの分野の施策充実のため、大切に使用させていただきました。

今後、紀の国わかやま国体の開催や高野山開創1200年等に向け、皆様の和歌山

への想いを大切に、より一層「元気な和歌山」の実現に取り組んで参りますので、引き続き和歌山県を応援していただきますよう、よろしくお願ひします。

また、県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」では、寄附金についての詳細や皆様から寄せられたメッセージなどを掲載していますので、是非ご覧ください。

ふるさと和歌山応援サイト トップページ



ふるさと和歌山応援サイト

検索

Q: 「ふるさと納税」ってなに？

A: 「ふるさと納税」とは、所得税と住民税として税金を納めるのか、自分が選んだ「ふるさと」に寄附という形で貢献するのか、私達自身で選択することができる制度です。

みなさまが寄附を通じて「ふるさと」を支援された場合、一定の限度はありますが、2,000円を超える金額については、確定申告により所得税とお住まいの自治体の個人住民税から寄附金控除を受けることができます。

(例)

寄附金 30,000円 の場合		
所得税 約2,900円	個人住民税 約25,100円	適用下限額 約2,000円
← 控除額合計 約28,000円 →		

★お問い合わせ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 星加、南、嶋村

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

☆お問い合わせ窓口☆

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 小住

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

イベント情報(10月11日~11月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
10/11 10/12	橋本だんじりまつり	橋本市・市内各地	橋本市観光案内所 0736-33-3552
10/12	衣奈祭本祭	由良町・衣奈八幡神社	由良町観光協会 0738-65-0154
10/12	笑い祭	日高川町・丹生神社	日高川町まちみらい課 0738-22-2041
10/12	みかん祭り	海南市・橋本神社	橋本神社 073-494-0083
10/12	泣き相撲	海南市・山路王子神社	山路王子神社 073-494-0455
10/13	えびすのお渡り	九度山町・古沢巖島神社	九度山町観光協会 0736-54-2019
10/14	千田須佐神社秋祭	有田市・千田須佐神社	有田市産業振興課 0737-83-1111
10/15 10/16	熊野速玉大社例大祭、 御船祭、神馬渡御式	新宮市・熊野速玉大社	熊野速玉大社 0735-22-2553
10/16 10/17	熊野三所神社例大祭	白浜町・熊野三所神社	熊野三所神社 0739-43-0558
10/18	稲むらの火祭り	広川町・役場前	広川町産業建設課 0737-63-1122
10/18 10/19	まちなかキャントゥルミネーション ・竹燈夜	和歌山市・ 和歌山城とその周辺	竹燈夜実行委員会事務局 073-435-1234
10/18 10/19	木ノ本の獅子舞	和歌山市・木本八幡宮	木本八幡宮 073-451-5915
10/19	鹿島神社の秋祭り	みなべ町・鹿島神社	みなべ観光協会 0739-72-4949
10/19	すさみレディースフィッシングトーナメント	すさみ町沖合	マリンスポーツフェスティバル実行 委員会 0739-55-2293
10/26	和歌浦ベイマラソン with ジャズ	和歌山市・ 和歌山マリーナシティ	和歌山市スポーツ振興課 073-435-1364
10/26	吉田祭・宮子姫顕彰祭	御坊市・吉田八幡神社	吉田八幡神社 0738-53-0630
10/26	あげいん熊野詣	那智勝浦町・那智山	那智勝浦町観光協会 0735-52-5311
11/1 11/2	紀州漆器まつり	海南市・黒江川端通り	紀州漆器祭り実行委員会 073-482-0322
11/3	野中の獅子舞	田辺市・中辺路町	中辺路町観光協会 0739-64-1470
11/3	上野の獅子舞	田辺市・春日神社	ふるさと富里まつり実行 委員会 0739-63-0001
11/3	熊野古道絵巻行列	田辺市・中辺路町高原	中辺路町観光協会 0739-64-1470

自然・風物情報(10月中旬～11月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
10月中旬	大さがり(稲穂)	田辺市・龍神村	龍神観光協会 0739-78-2222
10月中旬	古代米の稲刈り	橋本市・杉尾	杉尾古代米の会 0736-37-5055
10月中旬	「あぶリアユ」シーズン	田辺市・中辺路町	中辺路町観光協会 0739-64-1470
10月下旬	ユズ初しぼり	古座川町・平井	古座川ゆず平井の里 0735-77-0123
10月下旬	しめ縄作り	田辺市・中辺路町	J A 紀南 0739-23-3450
10月下旬	富有柿収穫ピーク	かつらぎ町	J A 紀北かわかみ 0736-42-5361
10月下旬	アサマリンドウ咲く	みなべ町・清川天寶神社	みなべ町観光協会 0739-72-4949
10月下旬	コスモス見ごろ	有田川町・ 鷲ヶ峯コスモスパーク	有田川町産業課 0737-32-3111
		上富田町・ 市ノ瀬小山河川敷	上富田町教育委員会 0739-47-5930
11月上旬	ジャバラ収穫始まる	北山村	北山村観光産業課 0735-49-2331
11月上旬	仙人風呂オープン	田辺市・川湯温泉	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
11月上旬	新酒初しぼり	海南市・中野BC	中野BC 073-482-1234
11月上旬	こも巻き	和歌山市・和歌山城公園	和歌山城管理事務所 073-435-1044
11月上旬	シキザクラ満開	白浜町・湯崎	白浜観光協会 0739-43-5511
11月上旬	橋杭岩ライトアップ	串本町・橋杭岩	串本町産業課 0735-62-0557



山間の農村、橋本市杉尾地区では、村おこしの一環として、古代米「大師黒(たいしぐろ)」の有機栽培と田植え・稲刈り体験で都市住民との交流に取り組んでいます。

最近では活動が広まり、杉尾地区出身者だけでなく、周辺新興住宅街や県外からの参加者も増えています。

古代米は、橋本市や九度山町の小学校等の給食に取り入れられています。また、健康食品ブームにより、杉尾ブランドとして古代米の販売も徐々に伸びてきています。

～編集後記～

和歌山では秋らしい爽やかな日々が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。「行楽の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と例えられるように、何をするにも絶好の季節を迎えました。

そのような中、「わかやまDC」がいよいよ始まり、「行楽の秋」にふさわしく、皆さんに楽しんでいただける特別企画が満載です。また、昨年の夏から県内の皆さんに応募していただいている「おもてなし宣言」には、1年間で6万人の方が登録してくださいました。この「宣言」は、個人や企業の皆さんが、自ら考えたおもてなしの方法を公表し実践するもので、地元の食材を豊富に使った料理を提供するといった宣言もあり、様々な形で温かくお迎えする準備を整えています。今年の夏は台風等の影響もあり、和歌山への観光客が少し減少したようです。この「わかやまDC」を機に、夏の間で多くの方に和歌山を訪れていただきたいと思います。

そして、「スポーツの秋」と言えば、先日まで韓国で開催されました仁川アジア大会において、競泳の山本耕平選手、フェンシングの西岡詩穂選手らがメダルを獲得するなど、県勢の選手も大活躍しました。こうした活躍が他の県選手団の刺激となることで、10月12日から始まる長崎国体では、今年目標である男女総合14位を達成し、来年への弾みとしたいところです。皆さんの熱い御声援もよろしく願いいたします。

「食欲」の方は、有田みかん「ゆら早生」の出荷が始まりました。9月は天候に恵まれたため、出来栄も上々だそうです。我が家の柿も少し色づき始めましたが、今後、紀北の産地では富有柿の出荷もピークを迎えます。こうした和歌山を代表する秋の味覚は、わかやま紀州館や紀州館の姉妹店でも取りそろえておりますし、皆さんのお近くのスーパーでも見かけると思いますので、是非御賞味ください。

和歌山にお越しいただける方も、お越しになれない方も、お好みのテーマで和歌山の秋を楽しんでくださればと思います。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2014年(平成26年)10月 NO.78

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022